

- ④ 部会の内容には、オリエンテーション、研究発表、研究協議、まとめの各事項を含むものとする。
- ⑤ 研究発表は、各部会につき各出張所管内から2人ずつ行なうのを原則とする。ただし、各部会の発表者が6人を下らないようにする。
- ⑥ 各会場の運営責任者は、会場出張所長とし、運営責任者は共催者および協賛者と密接な連絡を図って運営にあたる。
- (8) 指導助言者
大学教授、指導主事、指導委員および校長、教諭等
- (9) 事前研究
- ① 各参加者は「事前研究の手びき」に基づき、個人または共同で事前研究を行なうこと。
- ② 各教育研究団体や各学校においては、当研究集会の研究問題を研究主題の中にとりあげて研究することが望ましい。
- (10) 事後処理
- ① 各部会においては、研究結果をまとめて、会場出張所長に提出する。
- ② 各会場の研究結果は、県教委においてまとめをする。
- ③ 参加者の中から各部会ごと2人程度の県代表を決定し、全国集会に派遣する予定である。
- ④ 各学校においては、参加者を中心にして研究を深める機会を設けることが望ましい。
- (11) 研究問題（県問題だけとし、共通問題を設定しない。）
- ① 国語
ことばに関する事項の学習指導
一発音、文字（ローマ字を含む）、表記、語句、ことばづかい等の学習指導を中心にして一
- ② 社会
社会科の学習指導において、単元の目標や学習のねらいとして掲げる能力を効果的に形成していくためには、指導計画の作成や実際指導のうえで、特にどのような配慮やくふうが必要か。

- ③ 算数
ア. 数と計算の指導を通して、どのような数学的な考え方を伸ばすことが望ましいか。
イ. 数量的に問題を解決する能力を伸ばすにはどのように指導したらよいか。
- ④ 理科
発展的・系統的な指導計画をどのようにして立てるか。
また、その中に位置づけられる教材の性格と、それに即した学習指導の方法は、どのようであるべきか。——特に、生物、天文を素材として考察する——
- ⑤ 音楽
創作指導を、学年段階に即して効果的に行なうには、どのようにしたらよいか。
- ⑥ 図画工作
鑑賞の指導は、どのように進めたらよいか。
——特に「絵をかく」学習について——
- ⑦ 家庭
学習指導を効果的にすすめるには、どのようにしたらよいか。
——特に、家庭の領域を中心にして——
- ⑧ 体育
ボール運動の効果的指導はどのようにすればよいか。
——特にドッチボール、ポートボールの技能の向上のための指導法を中心として研究する——
- ⑨ 道徳
広く道徳教育の効果をあげるためには、道徳教育の全体計画をどのように作成し、実施したらよいか。
- ⑩ 特別教育活動
クラブ活動の計画と運営は、どのようにすればよいか。
- ⑪ 学校行事等
学芸的行事の計画作成および実施にあたって、どのような点に配慮しなければならないか。

(12) 参加者数

部会 会場	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	特活	学校 行事等	計
福島	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	385
郡山	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	363
白河	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	253
若松	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	385
平	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	275
浪江	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	220
計	171	171	171	171	171	171	171	171	171	171	171	1,881